

広報 さとうきび増収

サトウキビ単収8トンを目指して！！基本技術の励行で単収向上に努めよう！！

新春の候、さとうきび生産者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。25/26年産さとうきびの集荷も12月10日より始まりました。

『平成25年産さとうきび生産見込みと集荷状況！！』

本年産の生産見込み量は約17万4千トンとなっており、12月29日現在の買入甘蔗糖度は平均**13.34%**と、例年に比べ甘蔗糖度は高い状況となっています。

※平成25年産の農家手取り単価は、原料代が前年比+107円アップ、交付金単価は+320円アップしており、**基準糖度帯の13.7%は21,554円**となります。

【平成25年産さとうきび生産見込み数量(12月29日現在)】

市町	年期	収穫面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)	買入糖度 (12/29日現在)
西之表	25年産	807	5,500	44,385	13.18
	24年産	841	5,345	44,949	13.46
	対比(%)	96.0	102.9	98.7	97.9
中種子	25年産	1,401	6,900	96,690	13.41
	24年産	1,441	5,662	81,588	13.49
	対比(%)	97.2	121.9	118.5	99.4
南種子	25年産	501	6,600	33,028	13.36
	24年産	506	5,498	27,822	13.42
	対比(%)	99.0	120.0	118.7	99.6
合計	25年産	2,709	6,427	174,103	13.34
	24年産	2,788	5,537	154,359	13.47
	対比(%)	97.2	116.1	112.8	99.0

※24年産の収穫面積、単収・生産量については最終実績。



『異物混入は、工場停止の原因に！！』



大事な作業道具忘れていませんか？
「鎌やクワなど出荷前に再確認！！」

工場では圧搾する前に金属検出機を設置して異物混入対策を行っています。

鋏・鎌・鉄パイプ等が、原料と一緒に搬入され非常に困っている状況です。

写真は実際に混入した異物です。これらが混入した場合は**「工場圧搾停止につながる大きな要因」**となりますのでくれぐれも注意をお願い致します。



『さとうきびマルチ被覆率の向上とポリマルチ適正処理について！！』



春植・株出マルチ被覆で単収8トン！！
「本年産のキビマルチ処分料金は昨年引き続き無料です」

近年の低単収を受けて、早期に生産回復を図る必要があります。

低単収の要因には、気象条件の他に近年のマルチ被覆率低下(特に株出栽培)が指摘されています。

昨年度(25年産)については、マルチ被覆率向上の為に、『さとうきびのポリマルチに限り、その回収処分費用を新光糖業株式会社で負担』したところでした。

本年度(26年産)についても昨年に引き続き、生産回復、単収向上の為に**『さとうきびのポリマルチに限り、その回収処分費用を新光糖業株式会社で負担します。』**この機会を利用して、マルチ被覆を行い、単収向上に努めて頂きますようお願い致します。

また、使用済みポリマルチの処理は、法令遵守に努め適正処理を行って下さいますよう御協力下さい。



『増産推進日 5日間 春植による面積確保を！！』

本年度の増産推進日は**2月27日～3月3日の5日間**となっています。この期間を利用して春植え・株出管理作業に取り組んで頂きますようお願いいたします。

気象予報では今年も平年より寒い予報となっています。**茎数確保・増収には「早植え+マルチ被覆」**で、マルチ被覆により、寒さからさとうきびを守り、発芽・萌芽を促進し、茎数(10,000本以上/10a)を確保する事が、生産安定を図る**重要なポイント**です。



増産推進日は5日間！！
「春植推進・株出の適期管理」



『平成26年度交付金単価 100円/トン 引き上げ決定！！』

26年度の交付金額について、「1トン当たり16,420円とし、25年産より**100円増額**」する事が決定しております。

また、生産振興対策として、サトウキビの不作からの脱却、生産回復と増産に向けた現地の取り組みを強力に支援するため、平成25年度補正予算で「さとうきび増産基金」を積み増しして必要額を確保するほか、引き続き農業機械などのリース導入を支援するため、必要額も確保されています。